

第三セクターの経営情報について

平成29年8月17日

産業経済局商業・サービス産業政策課

報告対象団体		北九州まちづくり応援団株式会社	
会社概要	会社の事業内容	1. 指定管理事業 2. 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 3. その他自主事業	
	資本金額	32,000	千円
	本市の出資額	1,000	千円
	本市の出資割合	3.125	%
	従業員数	32	人
営業報告の要点		<p>小倉地区の中心市街地の賑わい創出のため、次の活動を行った。</p> <p>1. 指定管理事業 「小倉城」、「小倉城庭園」及び「水環境館」の指定管理者として、施設の管理・運営を行った。 小倉城の入場者が対前年比122%の年間18万6千人超、小倉城庭園の入場者も対前年比120%と、両施設とも大幅に増加しており、入場料収入並びに売店売上も予算を大きく上回った。</p> <p>2. 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 予定通り実施した。</p> <p>3. その他自主事業 「サンリオ小倉ビル管理事業」では、入居テナントへの来店者数が順調に推移した。</p>	
収支状況の要点	当期純利益	6,658	千円
	前年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高 279,632千円（前年度比7,625千円の減） ・経常利益 8,358千円（前年度比5,979千円の増） （前年度経常利益 2,379千円） ・当期純利益 6,658千円（前年度比1,179千円の増） （前年度純利益 5,479千円） 	
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	<ul style="list-style-type: none"> ・前期末（平成28年3月31日）の繰越利益剰余金 130千円 	
利益処分	当期末処理利益（損失）	6,788	千円
株主総会 （平成29年6月19日開催）	監査報告	監査役1名が監査した結果、適法かつ正確であった。	
	議案	<p>決議事項</p> <p>第1号議案 第12期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）事業報告及び決算案承認の件</p> <p>第2号議案 取締役・監査役辞任及び取締役・監査役選任の件</p> <p>報告事項</p> <p>1 第13期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）事業計画の件</p> <p>議案は異議なく承認可決。</p>	

（平成29年3月31日現在）

北九州まちづくり応援団株式会社
平成28年度経営状況報告

平成28年8月17日
産 業 経 済 局

1号議案

平成28年度事業報告書

〔 自：平成28年4月1日
至：平成29年3月31日 〕

活動の概要および成果

第12期(平成28年度)は、前年度までに実施してきた組織・事業の見直しに従って、採算事業に人員・予算を重点的に配分して、利益の極大化を図ってまいりました。

当年度は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④「サンリオ小倉ビル」管理事業の4つに絞り、北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に寄与してまいりました。

北九州市からの「指定管理事業」(小倉城・小倉城庭園・水環境館)については、小倉城の入場者が平成27年度に引き続き大幅に伸長し、対前年比122%の年間18万6千人超の方に来場いただきました。また、小倉城と小倉城庭園を連動させたイベントや企画展を開催することにより、小倉城庭園の入場者数につきましても対前年比120%と、横這い傾向だった過去数年とは異なり増加傾向に転じることが出来ました。これらにより、入場料収入ならびに売店売上も予算を大きく上回り、最終損益の改善につながりました。

なお、来場者の属性面では海外からのお客様が小倉城・小倉城庭園共に対前年比で2倍以上の伸びとなっており、特に韓国からのお客様は定期便の就航(昨年12月)を契機に、それまでの伸び以上に多く訪れていただくようになっております。

「共通駐車券事業」および「賑わいイベント事務局事業」については、おおむね予定通りの活動が出来たことにより、ほぼ予算通りの利益が確保できました。小倉地区の中心市街地の賑わいづくり・活性化にも寄与できたものと思います。

「サンリオ小倉ビル管理事業」については、1Fテナント「カルディー」の来店者が引き続き順調に推移していることから安定的な賃料を得ることが出来ています。2Fのテナント「ママトモ魚町」については、商店街と連携したイベントなどを通じて託児施設としての認知PR活動を行ってきた結果、来場者は対前年122%と増加いたしました。3F会議室を利用した外部団体による女性向け講座が減少したことなどにより、有料託児人数は減少しました。これを補うため、独自の子育て支援講座などを1割以上増やして有料託児人数の増加に努めました。減少分を補うには至りませんでした。

なお本ビルを賃借するに当たり、ビルの改修費用については、経済産業省からの補助金1600万円と銀行からの借入金により調達しておりますが、銀行借入金については、予定通り返済を進めており、平成28年度末の借入金残高は603万円となっております。(返済完了は平成34年9月末予定)

以上の事業活動の結果、当社の当年度収入は、2億7963万円（対前年99.5%）と事業の整理等により前年より若干の減少とはなりましたが、販売費および一般管理費の改善により、税引き前当期純利益は期初目標を大きく上回る835.8万円となり、前年の548万円から更に改善いたしました。

貸借対照表

北九州まちづくり応援団 株式会社

平成29年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 59,601,376】	【流動負債】	【 23,621,251】
現 金	1,948,863	未 払 費 用	14,520,160
預 金	46,611,903	未 払 法 人 税 等	1,764,200
商 品	2,750,427	預 り 金	2,383,091
貯 蔵 品	2,565,214	未 払 消 費 税	1,953,800
前 払 費 用	204,200	預 り 敷 金	3,000,000
未 収 入 金	5,520,769	【固定負債】	【 6,032,000】
【固定資産】	【 8,839,650】	長 期 借 入 金	6,032,000
(有形固定資産)	(5,769,650)	負債合計	29,653,251
建 物	3,688,023	純資産の部	
建 物 附 属 設 備	2,081,627	【株主資本】	【 38,787,775】
(投資その他の資産)	(3,070,000)	資 本 金	32,000,000
投 資 有 価 証 券	60,000	(利 益 剰 余 金)	(6,787,775)
出 資 金	10,000	その他利益剰余金	6,787,775
敷 金	3,000,000	繰越利益剰余金	6,787,775
		純資産合計	38,787,775
資産合計	68,441,026	負債・純資産合計	68,441,026

損益計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
事業収入金	54,730,071	
小倉城関連売上	224,902,368	279,632,439
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	3,067,399	
小倉城関連売上原価	12,981,839	
仕 入 高	42,933,634	
* * 合 計 * *	58,982,872	
期末棚卸高	42,750,427	56,232,445
売上総利益金額		223,399,994
【販売費及び一般管理費】		216,197,448
営業利益金額		7,202,546
【営業外収益】		
受 取 利 息	900	
雑 収 入	1,236,309	1,237,209
【営業外費用】		
支払利息割引料		81,490
経常利益金額		8,358,265
税引前当期純利益金額		8,358,265
法人税、住民税及び事業税		1,700,000
当期純利益金額		6,658,265

販売費及び一般管理費

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
旅 費 交 通 費	8,934
通 信 費	192,984
減 価 償 却 費	643,603
賃 借 料	676,880
保 険 料	81,119
水 道 光 熱 費	522,074
消 耗 品 費	280,114
租 税 公 課	244,265
事 務 用 品 費	4,320
支 払 手 数 料	52,700
諸 会 費	337,380
清 掃 費	454,094
警 備 業 務 費	145,200
地 代 家 賃	5,000,004
事 業 運 営 費	2,652,694
協 賛 金	80,000
維 費	452,376
小倉城関連諸経費	204,368,707
合 計	216,197,448

小倉城関連諸経費の内訳

自平成28年4月1日

至平成29年3月31日

(単位 円)

科 目	金 額
給 与 手 当	58,654,482
賞 与	12,787,500
雑 給	8,605,765
法 定 福 利 費	11,658,355
福 利 厚 生 費	4,315,907
委 託 費	250,370
旅 費 交 通 費	1,849,148
通 信 費	1,391,016
交 際 費	391,379
賃 借 料	745,037
保 険 料	1,427,970
修 繕 費	1,208,180
水 道 光 熱 費	11,512,901
消 耗 品 費	2,319,384
租 税 公 課	24,701
車 両 費	64,280
事 務 用 品 費	473,855
広 告 宣 伝 費	5,042,774
印 刷 物 等 作 成 費	2,108,231
支 払 手 数 料	865,143
諸 会 費	159,095
新 聞 図 書 費	67,536
呈 茶 関 連 費 用	5,315,395
文 化 関 連 費 用	42,493,034
維 持 清 掃 費	19,775,630
警 備 業 務 費	1,260,228
保 守 点 検 費	3,890,400
協 賛 金	3,370,000
会 議 費	31,448
雑 費	2,309,563
合 計	204,368,707

株主資本等変動計算書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

(単位 円)

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高		<u>32,000,000</u>
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		129,510
	当期変動額	当期純利益	<u>6,658,265</u>
	当期末残高		<u>6,787,775</u>
株主資本合計	当期首残高		32,129,510
	当期変動額		<u>6,658,265</u>
	当期末残高		<u>38,787,775</u>

個別注記表

自平成28年4月1日

至平成29年3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）は定額法）を採用しています。

(2) 無形固定資産 定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 3,324,110円

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たりの純資産額 60,605.89円

一株当たりの当期純利益又は当期純損失 10,403.53円

監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社
代表取締役社長 原田 康 様

第12期事業年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日迄）の
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。
その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

平成29年5月26日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役：

前川 義広

第2号議案

(1) 取締役・監査役辞任及び取締役・監査役の選任について

氏名	生年月日		備考
鮎川 典明		取締役	北九州市 小倉北区長
原賀 一博		取締役	北九州まちづくり応援団(株) 業務統括本部長
庄山 和利		監査役	西日本鉄道(株) 取締役

※田島裕美取締役は、第12回株主総会をもって辞任

※重永佳己取締役は、第12回株主総会をもって辞任

※前川義広監査役は、第12回株主総会をもって辞任

・取締役の任期

至 第12回定時株主総会終結時 (平成29年6月19日)

至 第13回定時株主総会終結時 (平成30年6月末予定)

・監査役の任期

至 第12回定時株主総会終結時 (平成29年6月19日)

至 第15回定時株主総会終結時 (平成32年6月末予定)

【報告事項】

第 13 期平成 29 年度事業計画書

〔 自：平成 29 年 4 月 1 日
至：平成 30 年 3 月 31 日 〕

活動計画の概要

当年度は、前年度に引き続き①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、の 3 本柱で利益を生み出し、それによって北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に寄与してまいります。一方で、事業環境が大きく変化した④「サンリオ小倉ビル」管理事業につきましては、当年度半ばを目処に事業終息を目指してまいります。

「指定管理者事業」（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、昨年までの好調な入場者増の流れを維持すべく、城内・城外での集客イベントを実施してまいります。また、小倉城庭園につきましても、小倉城との連携をより密にし、入園者増ならびに小倉城庭園の認知向上を図ってまいります。

「共通駐車券事業」については、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業 PR ツールについての研究を行ってまいります。

「賑わいイベント事務局事業」については、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託予定であり、独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会も例年通り開催を予定しております。

「サンリオ小倉ビル」管理事業については、当該ビルの所有権が第三者に売却されたことにより、新所有者とビル賃貸契約の更新について協議を続けてまいりましたが、双方が受け入れ可能な条件を見いだせず、現賃貸契約が満了する本年 9 月末をもって本事業も終息させるべく関係者との交渉ならびに調整を行ってまいります。

結果として、第 13 期の売上高は 2 億 7,682 万円を見込んでおり、営業利益については前年度並みの 810 万円を計上できる見通しである一方で、「サンリオ小倉ビル」管理事業の事業整理に伴い発生する営業外損益ならびに特別損失により、経常利益につきましては約 10 万円と僅かな黒字にとどまる見込みです。

なお、損失額につきましては現時点で確定しておらず、可能性のあるリスクを全て盛り込んだ予算となっております。今後の活動並びに関係各所との交渉において赤字幅を圧縮すべく最大限努めてまいります。

平成29年3月31日現在

会社の概要

(1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託

(2) 事業所

本社

・北九州市小倉北区魚町2丁目2番11号

指定管理部門（小倉城・小倉城庭園・水環境館）

・北九州市小倉北区城内2番1号（小倉城）他

(3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 18名

(4) 株主の状況

(1株=5万円)

株 主 名	持株数	出資金額
北九州商工会議所	60株	300万円
株式会社井筒屋	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
株式会社アパマンショップホールディングス	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
株式会社コレット井筒屋	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合 計	640株	3200万円

(参考資料)

(5) 取締役および監査役

氏名	生年月日	役職	備考
利島康司		代表取締役会長	北九州商工会議所 会頭
原田康		代表取締役社長	北九州商工会議所 副会頭
中村渉		取締役	北九州商工会議所 参事
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会 顧問
田島裕美		取締役	北九州市 小倉北区長
重永佳己		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
前川義広		監査役	西鉄バス北九州(株) 取締役社長